



OLIVE ニュース 10月 2017

月刊紙

11月の予定 1日 理事会・東洋学園定例会議 6～17日 いわき支援学校、くぼた校実習 7日 給食会議
11日 おりーぶ後援会秋祭り 20～12月1日 富岡支援学校実習

感謝

工房阿列布の敷地内の樹木が台風で傾いてしまいました。しばらく続いた長雨の影響もあったのでしょうか。日を迫うごとに樹木は傾いていきます。

このまま倒れたら公道をふさぎ近隣の方に迷惑をかけてしまうと案じていたところ後援会員で何度も除草作業に参加いただいている矢島礦業所さんがチェーンソーを使い短時間で伐採してくれました。ありがとうございました。後援会員の中には今回のように間接的に利用者を支える方がいらっしゃいます。皆様に感謝申し上げます。



遊技台寄付をいただきました。
日本遊技協会の東北支部の皆様が宮城、山形など東北あちこちから工房阿列布に遊技台やお菓子、飲物などの寄付のため訪問されました。工房阿列布への寄付二度目です。遊技台は今後余暇活動等で利用していきます。またたくさん頂いたお菓子類はさくら会のお茶会などで活用してまいります。寄付の贈呈式については新聞や遊技協会の広報誌にも掲載されました。

春に続き、秋の環境整備奉仕作業も雨で中止となってしまいました。後日、除草・草集めの呼びかけにご参加くださった皆さん、ありがとうございました。

おりーぶ後援会

由仁町・いわき市へのヒアリング(各事業所の事業計画聞き取り)が行われました。

由仁町 7～9名のグループホーム申請

由仁町福祉課とのヒアリングで法人は、平成35年の開設を目標に由仁町に入所定員7～9名のグループホームを目指す計画を伝えました。現在、北海道では4名の利用者がおりますので、今後3名から5名の利用者の希望を募ることになります。入所の希望がある場合は法人事務局を相談窓口として下さい。又北海道の視察も受け付けます(KAKA 'S FACTORY 管理者 太田)

いわき市7月の保護者部会の結果10年後に。

「10年後を目安にグループホーム建設を保護者が望んでおります」と7月に行われた保護者部会アンケートに基づき返答いたしました。市からは相談支援の受入れ体制についての聞き取りや来年度から本格的に始まる共生型(静修苑)についての実績や現状をたずねられ、現状報告をいたしました。(相談支援事業所おりーぶ 管理者 坂井)

寄付、物品寄贈の皆様

菅野モト子様 半田美江子様 小松谷純子様 林 信様 (順不同) ありがとうございました